

本展では八雲とセツに関する資料をはじめ、友人西田千太郎に宛てた自筆書簡、愛息一雄が手元に残し続けたパパ八雲との思い出の品などを通して、八雲とセツ、その家族が紡いだ物語をご紹介します。

## 家族が生まれ 作家へとばけた 熊本暮らし

小泉八雲(Lafcadio Hearn 1850-1904)は、熊本で第五高等中学校(現・熊本大学)の英語教師として3年間暮らしました。熊本では大黒柱としてセツたち家族の生活を支え、長男・一雄も生まれました。また、日本に関するはじめての著作『知られぬ日本の面影』も熊本で書き上げました。名作と名高い「夏の日の夢」、「停車場にて」など熊本を舞台にした作品も多くあります。熊本は八雲が父となり、作家へとばけていく場所でした。



八雲愛用のスーツと帽子



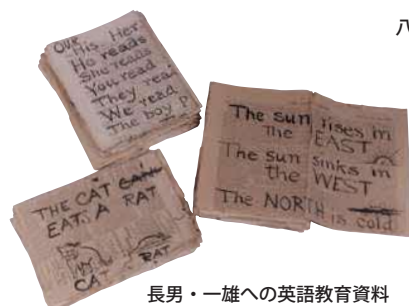
八雲愛用のトランク



セツの英単語帳



八雲愛用の煙管



長男・一雄への英語教育資料

### 記念イベント1

#### 特別展記念講演会

【講師】小泉 凡氏(小泉八雲記念館長)  
小泉 祥子氏(同館学芸企画ディレクター)

**12月13日(土) 13:30~16:00**

【会場】パレアホール(熊本市中央区手取本町8-1)

【定員】先着300名 【費用】無料

※お問合せ TEL:096-361-3383(実行委員会 熊日事業部内)

※お申込みは  
二次元コードから



### 記念イベント2

#### プラネタリウム「八雲の見た星空」

1891年11月19日小泉八雲来熊初日の星空を再現。

八雲とセツたちのエピソードとともに星空の解説を行います。

**12月2日(火)~2月15日(日) 毎週金曜14:45~**

【会場】熊本博物館 【申込】不要

【費用】無料(博物館入場料及びプラネタリウム観覧料が必要)



親子向け

#### 特別展解説

担当学芸員が特別展の解説を行います

**1月17日(土)・1月18日(日)**

**10:00~、14:00~**

(各回30分程度)

申込：不要 費用：無料

(特別展観覧料が必要)

### 連携開催館と展覧会の紹介

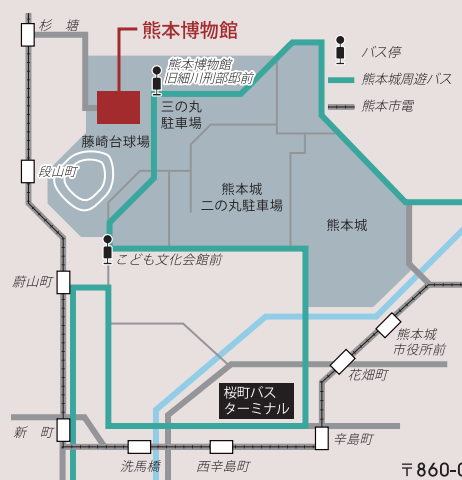
#### 「小泉セツ - ラフカディオ・ハーンの妻として生きて」【第2期】

2025年6月13日(金)~2026年9月6日(日)



小泉八雲記念館

島根県松江市奥谷町322  
TEL: 0852-21-2147



#### 交通アクセス

- バス「桜町バスターミナル」または「市役所前」下車、徒歩15分
- 熊本城周遊バス(しろめぐりん)で「博物館・旧細川刑部邸前」下車
- 熊本市電「杉塘」下車、徒歩5分
- 専用駐車場はありません。一番近い駐車場は、三の丸駐車場(有料)です。

※最新の情報は熊本博物館の公式HPをご確認いただくか、お電話にてお問い合わせください。



HP



X(旧Twitter)



Instagram

〒860-0007 熊本市中央区古京町 3-2  
TEL: 096-324-3500 / FAX: 096-351-4257

熊本博物館  
KUMAMOTO CITY MUSEUM